

考え、話し、**変わる日本へ。** **だれひとり取り残さない**

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長
衆議院議員

たけまさ 公一



「消費税食料品ゼロ%」「財源明示」

裏面は
＜まがい裕人＞
参議院議員特集

4月11日・15日・18日・22日の4回の全議員協議と24日の次の内閣を経て、25日立憲民主党野田佳彦代表から「まず1年、そして1年に限り延長して最長2年間、物価高騰対策として食料品のみ消費税率を0%とする」「その後は、給付付き税額控除に移行する」「財源は、国債に頼らず借金せずにねん出する」と発表がありました。

民主党政権時の党税制調査会役員会以来「食料品は0%に」という持論の私もすべての会合で発言をしました。野田代表の発表にしたがって、財源などの詰めと税率引き下げまでの緊急経済対策を急ぎます。財源を国債発行、すなわち借金に頼れば、若い世代の皆さんの将来納める税金をあてにすることになるため、それはやりません。

電波オークション（競り方式）実現へ

4月10日、衆議院総務委員会で「電波法改正案並びに放送法改正案」の質疑に立ちました。特に、電波法改正案の内容は6GHz帯以上のミリ波帯といわれる帯域に、「電波オークション（競り方式）」を導入するものです。

2002年、片山虎之助総務大臣（当時）が私の質問に対して「電波の経済的価値」を認める答弁をして、翌年から

5回「電波オークション法案」を責任者として提出してきました。民主党政権時も内閣法として提出しながらいずれも成立できませんでした。

4月18日には法案は参議院で可決成立しました。電波オークションにより競り落とされた収入は国庫収入となります。その有効活用を図ります。

憲法審査会で国会機能強化(予算、財政規律)提起

今国会、テーマをあらかじめ決めて、4回の「国会機能維持」と2回の「国民投票法」の意見表明を、各党から行うなど落ち着いた議論を進めました。5月8日、衆議院憲法審査会で「解散権の制限」をテーマに自由討議を行い、私からは「国会機能維持、強化という視点では予算、予算修正あるいは財政規律」を提起しました。

地下鉄岩槻延伸。アーバンみらい経由蓮田へ

4月21日「地下鉄7号線延伸事業化実現特別講演会」が開催され、清水勇人市長から今年度国への延伸申請を行うことが表明されました。私からは、「岩槻延伸。アーバンみらい経由蓮田へ」実現を期するとお伝えしました。

たけまさ(武正)公一 衆議院議員

1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後、外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。



立憲民主党埼玉県第1区総支部
衆議院議員たけまさ公一事務所

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

■第9回女性の会 兼たけまさ公一後援会総会

6月30日 月 午後2時～4時
ロイヤルパインズホテル浦和

- 参加費 2,500円（コーヒー付き）
- ゲスト 葉月よしこ（シャンソン歌手）



■夏休み親子国会見学会

**8月5日 火 ●午前10時45分 衆議院第二
委員会館ロビー集合→国会議事堂見学→昼食
（各自ご準備ください）→ミニイベント＆国
会報告会→午後2時頃 現地解散 ●参加費無料**

お申込みはたけまさ事務所048-832-3810まで。
公式サイトのお申込フォームもご利用ください。

takemasa-k.jp





活動紹介 “あなたの笑顔をまもるために!”

参議院議員

立憲民主党埼玉県参議院選挙区第1総支部長

くまがい裕人

立憲民主党は、今夏に予定されている第27回参議院議員選挙において、埼玉県選挙区では現職の熊谷裕人（1期）をすでに公認内定しています。「すべては子どもたちのために」を活動の柱としている熊谷議員の政策の一端を紹介します。

くまがい裕人参議院議員の政策の一端を紹介します!

1 命を守る政治

- ・防災庁を早期設置し、災害緊急援助隊の創設・常設化を実現します。
- ・児童虐待の「防止から根絶」を目指し、自治体の取り組み強化を支援します。
- ・医療、介護、保育等の福祉分野への支援を拡充し、受け手も担い手も納得の制度を創ります。

2 コミュニケーションを大切にする政治

- ・青空対話活動やくまカフェ等、市民との直接交流を重視し、対話の政治を続けます。
- ・議院運営委員会理事や国会対策委員長代理として、与野党の垣根を超えた信頼関係を構築します。
- ・立憲民主党や無所属の地方議員の仲間たちとの連携を一層進め、地域の声を国へ繋ぎます。

3 人を大切にする政治

- ・日本で暮らす全ての人に学びの機会均等を保障します。
- ・多様性を力に、地域力の向上を図り、誰一人取り残さない社会を目指します。
- ・持続可能な年金制度改革や高額医療制度の維持等を目指し、税と社会保障一体改革を進めます。



予算委員会質疑

4 無駄遣いをやめる政治

- ・国の予算にPDCAサイクルを確立し、効率的な編成と執行を実現します。
- ・「決算重視の参議院」をより一層強化すると共に行政への監視機能のさらなる強化も図り、参議院の議会力を高めます。
- ・政府予算のDX化で予算執行内容を正確に把握し、徹底的に無駄を省きます。

5 子どもたちに恥ずかしくない政治

- ・企業団体献金を廃止した上、政治とカネの透明性を徹底し、しがらみの政治を断ち切ります。
- ・憲法審査会幹事として憲法議論を通じて、将来の国のあり方を真摯に考えます。
- ・議員外交、国際交流を活発化し、アジアで誇るべき地位を次世代に繋ぎます。



紙芝居

なぜ政治家を目指したかなどくまがい裕人議員の
人となりがわかるお絵描きムービーができました!



YouTubeにて公開中



プロフィール 熊谷裕人（くまがい ひろと）1962年3月23日さいたま市（大宮）生れ大宮育ち。中央大学商学部を卒業後、サラリーマンを経験し、国会議員秘書に。2007年さいたま市議に当選、連続3期務めた。2019年第25回参議院議員選挙で初当選。現在、立憲民主党埼玉県連代表代行。プライベートでは、紙芝居、スキー、ジョギング、ロードバイクを趣味に。フルマラソンに3回、ハーフマラソンに4回挑戦し、全て完走。家族4人、一男一女の父。